

日本語	中国語
保護者のみなさまへ 小学校入学に当たり、お子さまのことで「気になっている」ことはありませんか？	致各位家长 孩子即将升入小学，您对您的孩子有哪些“在意”的问题吗？
気になったときが相談するときです。 東京都教育委員会と区市町村教育委員会はお子さまの教育や就学について保護者のみなさまと一緒に考えます。	发现问题及时咨询。 东京都教育委员会与区市町村教育委员会与各位家长一起思考孩子的教育与就学问题。
【お問合せ先】 東京都特別支援教育推進室 電 話：03-5228-3433 メール：soudan@shugaku.metro.tokyo.jp	【咨询处】 东京都特別支援教育推進室 电 话：03-5228-3433 电子邮件：soudan@shugaku.metro.tokyo.jp
●学びの場（就学先）の決定について お子さまや保護者への情報提供・相談 （説明会・面談・学校見学・授業体験等） ↓ 総合的な観点から、就学先を検討 （障害の状況、お子さま・保護者・専門家の意見、学校や地域の状況等） ↓ 最終的に区市町村教育委員会が就学先を決定	●关于学习场所（就学处）的决定 面向孩子及家长提供信息及咨询服务 （说明会、面谈、学校参观、课程体验等） ↓ 从综合角度出发，探讨就学处选择 （残障情况、孩子/家长/专家意见、学校及地区情况等） ↓ 最终由区市町村教育委员会决定就学处
●転学（学びの場の柔軟な見直し）について 就学時に小学校6年間、中学校3年間の学びの場が全て決まるのではなく、お子さまの発達の様子や学校の環境等を考えながら、年度替わりの時期を原則として柔軟に転学（※転校ともいう。）することができます。	●关于转学（灵活调整学习场所） 就学时无需决定小学6年、初中3年所有学习场所，原则上可以根据孩子的发育情况、学校环境等，在年度交替期灵活转学（※亦称转校。）。
就学後に転学を希望される場合は、まずは在籍している学校の先生に相談するようお願いします。	在就学后希望转学时，请先与就读学校的老师沟通。
●就学相談Q & A Q子どもの学習や行動で気になることがあり悩んでいます。就学については、どこに相談したらよいですか。 Aお住いの区市町村教育委員会にいつでもお問い合わせください。 Qまわりから就学相談を受けるように勧められましたが、受けたほうがよいのでしょうか。 Aお子さまが学校生活に慣れるために必要な支援や配慮、教育環境等について共に考える機会ととらえて、ぜひ一度お子さまと一緒に相談にいらしてください。 Q障害があっても自宅から近い地域の小学校に通わせたいと思っています。 A保護者のお気持ちをお住いの区市町村教育委員会に伝えていただくことから就学相談は始まります。お子さまが学校生活を送るために必要な教育と支援・配慮について、一緒に考えていきましょう。 Q特別支援学校に行く地域や友達とのつながりがなくなるのではないかと心配しています。 A特別支援学校に在籍する児童・生徒は、地域の小・中学校に副次的な籍（副籍：ふくせき）をもち、地域や友達とのつながりをもつことができます。	●就学咨询Q&A Q对于孩子的学习及行为，有一些令人担心的地方，针对就学事宜，可以在哪里进行咨询？ A请随时咨询居住所在地的区市町村教育委员会。 Q周围的人建议我接受就学咨询服务，是否有必要？ A这是针对帮助孩子习惯学校生活的必要支援、关怀、教育环境等共同思考的机会，希望您能带着孩子一起来咨询。 Q虽然孩子有残障，我也希望孩子能够就读离家较近的小学。 A就学咨询的第一步就是向区市町村教育委员会传达家长的想法，请与我们联系考虑孩子学校生活所必须的教育、支援及关怀。 Q担心如果去特别支援学校，会与地区及朋友变得疏远。 A特别支援学校的在籍儿童及学生同时拥有地区中小学的副籍，保持与地区及朋友之间的联系。
「副籍交流の事例」などについてはこちらをご覧ください。	关于“副籍交流事例”等请扫描二维码。
●多様な学びの場 一人一人の障害や教育的ニーズに応じて「多様な学びの場」があります。 特別支援教育についてもっと詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。	●多样化学习场所 拥有应对每个孩子的残障情况及教育需求的“多样化学习场所”。 关于特别支援教育的更多详情请扫描二维码。
都立特別支援学校 （すべての障害種別に小・中・高等部を設置） 視覚障害（幼稚部も設置） 聴覚障害（幼稚部も設置） 知的障害 知的障害 肢体不自由 病弱 ※都立以外の特別支援学校もあります。	都立特別支援学校 （针对所有残障种类设有小学、初中及高中部） 视觉障碍（亦设有幼儿部） 听觉障碍（亦设有幼儿部） 智力障碍 肢体残疾 体弱 ※亦有非都立的特别支援学校。
区市町村立小学校・中学校 特別支援学級（固定学級） （一部の小・中学校に設置） 知的障害 肢体不自由 病弱・身体虚弱 自閉症・情緒障害 通常の学級 通級による指導 主として各教科の授業を通常の学級で受けながら、一部、障害に応じた特別な授業を受けることができます。	区市町村立小学及初中 特別支援学級（固定学級） （设于部分小学及初中） 智力障碍 肢体残疾 体弱、身体虚弱 自闭症、情緒障碍 普通学級 通級指导 主要在普通学级参加各科目学习，部分可接受针对残障情况的特殊授课。
・通級指導学級（一部の小・中学校に設置） 弱視 難聴 言語障害 ・特別支援教室（すべての小・中学校に設置） 自閉症・情緒障害、学習障害（LD） 注意欠陥多動性障害（ADHD） ※知的障害を伴わないものとする。	・通級指导学級（设于部分小学及初中） 弱视 听力下降 语言障碍 ・特别支援教室（设于所有小学及初中） 自闭症、情緒障碍、学习障碍（LD） 注意缺陷多动障碍（ADHD） ※不伴有智力障碍。
特別な指導・支援が必要な児童・生徒に対しては、学級担任が本人や保護者と相談し、指導方法や教材等の工夫をしています。	针对需要特别指导及支援的儿童、学生，班主任会与本人及家长讨论，思考指导方法及教材等。
※各学校間や学級間で共に学んだり、活動したりする交流及び共同学習という教育活動があります。学校間や地域社会との交流を通して、相互に理解を深める機会を設けています。	※设有在各学校间及学级间共同学习、活动的交流及共同学习相关教育活动，提供通过学校之间、与地区社会的交流，加深相互理解的机会。
※複数の障害がある場合は、障害の状況や程度を考慮し、お子さまにとって最適な教育を行うことのできる場を相談・検討します。	※若有多种残障，则将考虑残障情况及程度，商讨能够为孩子提供最合适教育的学习场所。
【入学までの流れ】 ※区市町村教育委員会によって多少予定が異なることがあります。	【入学流程】 ※由于区市町村教育委员会不同，日程安排会可能存在差异。
0才～年中 乳幼児健康診査で保健師に相談ができます。 地域の学校公開に参加し、情報を集めましょう。 入学までの手続きについて、区市町村教育委員会の説明会やホームページで調べてみましょう。	0岁～4岁（年中） 可在婴幼儿体检时与保健师讨论。 积极参加地区学校开放参观活动，收集信息。 关于入学前的相关手续，请通过区市町村教育委员会说明会及网站进行查询。
就学相談は、保護者から区市町村教育委員会に申込みをお願いします。	就学咨询的申请，请各位家长联系区市町村教育委员会。
年長4月～6月 ※都立特別支援学校を希望する場合でも、区市町村教育委員会に申込みをします。	5岁（年长）4月～6月 ※希望就读都立特別支援学校时，亦请向区市町村教育委员会提交申请。
※診断や検査等が必要な場合もあり、受診や実施まで時間を要することもありますので、お早めにご相談ください。	※可能需要诊断及检查等，且检查及实施需要较长时间，请尽早咨询。
6月～10月 就学先について保護者と教育委員会が合意形成するために、以下の内容をふまえて面談を重ねます。 ◆お子さまの様子の確認 就学相談の担当者が幼稚園や保育園等に伺うなどして、日常の場面を参観させていただきます。 ◆就学希望校の見学・授業の体験 保護者と就学相談の担当者で、お子さまの学校生活についてイメージを共有する機会です。 ◆医師による診察（就学時健康診断）、発達検査等 お子さまの様子を専門的な視点から確認し、必要な支援について一緒に考えます。	6月～10月 教育委员会为了就学处与家长达成一致，将围绕以下内容实施面谈。 ◆孩子情况的确认 就学咨询的负责人将访问幼儿园或托儿所等，了解孩子的日常情况。 ◆希望就读学校的参观及课程体验 家长与就学咨询负责人共同构想孩子学校生活情景的机会。 ◆医生检查（就学体检）、发育检查等 从专业角度确认孩子的情况，共同思考必要的支援。
11月～1月 就学先の決定（区市町村教育委員会から保護者宛に通知が届きます。）	11月～1月 决定就学处（由区市町村教育委员会向家长寄送通知。）
2月～3月 入学予定者向けの説明会（学校から保護者宛に案内が届きます。）	2月～3月 面向计划入学者的说明会（由学校向家长寄送通知。）
4月 入学式	4月 入学仪式